

## 相対的貧困対策事業に関する打合せ備忘録

- 【日時】 2022年11月8日(火) 10時00分～11時00分  
【場所】 アスノ法律事務所  
【参加者】 ガクセイ塾 代表 納富 崇(宮崎大学教育学部4年)  
宮崎青年会議所 田所 伸吾、竹原 沙織

### 1. ガクセイ塾について

もともと大手の塾でバイトしていたが、塾代の高さから地域的・相対的格差のある家庭の子どもたちには届けられないことに問題意識を持っていた。コロナで大手もオンライン授業を開始したが、システム的にも独自にできそうだったこともあり、自分たちで塾を立ち上げた。

塾はオンライン(oViceを利用)で、運営は2人で行っている。利用料を抑え(赤字にならない程度)、利用しやすくしている。講師は宮大の教育学部生などに依頼している。利用層は県内に限らず全国に広がっている。県内では格差のある家庭を対象にしているが、全国向け(Instagramで広報)では特に限っておらず、オンラインで勉強したい子どもたちが集まっている。

また、子ども食堂や児童館とも連携して、訪れる子どもたちへの学習支援も行っている。子ども食堂については、フードバンクみやざきの運営する子ども食堂でも行っている(毎週火曜、木曜)。

学習支援のみを行いたいわけではなく、塾事業以外にも補助事業として体験支援事業を行ってきている。今年も、職場体験事業を行っている。

### 2. 連携について

当委員会の来年度の事業計画を説明した。

#### ① ミニキッザニア

対象家庭(相対的貧困の家庭)へのイベント参加の案内をお願いしたいと伝えた。

#### ② 物販ブース体験

対象家庭からの参加者募集、及び参加者への講師役をお願いしたいと伝えた。

⇒対象家庭への案内や参加者募集は協力可能。また、講師役についても、宮大の教育学部生は非常に興味を持つだろうとのことで、連携に前向きな回答を頂いた。

今年度の補助事業で年内は忙しいとのことで、具体的な連携は年明けからスタートすることとし、それまではオンライン等で連携を図っていくこととした。

以上